

平成20年10月15日

国土交通省道路局長様

標津町長 金 澤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

日頃より、標津町の街づくり行政に、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

標記について、意見・提案を別紙の通り提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

様式 ①

北海道標津郡標津町

道路整備は、町民の生活や経済活動を支える社会基盤整備であり、かつて地域交通の主役であった鉄路が廃止する等、社会情勢の変化の中、広域交通を担う空港や高規格道路、道々、町道を結ぶ、道路ネットワークが益々重要となっており、真に必要な道路の考え方も、面積が広く人口密度の低い北海道と本州(都市圏)を同じ視点で見ると、避けるべきではないかと思うし、それぞれの地域に応じた道路整備が真に必要な道路であると考えます。

当地域は、道央圏との距離が遠いという地理的に不利な条件を抱え、医療面では高度中核医療機関のある中核都市への通院・搬送や、産業面では酪農・水産業の主要生産地として消費地への輸送時間の短縮といった面からも道路網の整備が必要であります。

当管内は地震多発地帯であり過去に震災により、社会経済活動に大きな打撃を受けた経験を有する当地域で、防災上からも道路の機能を強化する必要があると、冬季間の交通確保を最重点に、四季を通じて安定的かつ高速性を図るため、国道等の道路整備が不可欠であります。

ただ、道路政策が費用対効果優先で考えられ、利便性に一段と地域格差等が広がっている中で、地域が必要とする道路が、建設できない現状であります。

これらを踏まえ、町民の安全で安心な暮らしを守るためには、今後とも地域の道路網の整備は必要不可欠であります。町財政が、極めて窮屈な経営を強いられる中で財政的には向後も強く国に支援して頂かなければならない状況と考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道標津郡標津町

○現状

当地域は、道央圏との距離が遠いという地理的に不利な条件を抱え、医療面では高度中核医療機関のある中核都市への通院・搬送や、産業面では酪農・水産業の主要生産地として消費地への輸送時間の短縮といった面からも道路網の整備が必要である。

地震多発地帯であり防災上から道路の機能を強化し冬季間の交通確保を最重点に四季を通じた安定性・高速性を計るための交通安全対策及び危機管理の強化が必要である。

・道路政策が費用対効果優先で考えられ、利便性においての地域格差等が一段と深刻な状況となっており、地域が必要とする道路整備が建設できない現状である。

○課題

地域のライフラインとしての高規格幹線道路および地域高規格道路の整備を計画的かつ着実に進めていただきたい。

冬期の視程障害・交通事故など安定的、継続的な維持管理を行い、安全かつ安心な冬期交通確保、災害に強い道路の確保を図って欲しい。

・地域間格差の是正・生活重視・地域のニーズを踏まえ、地域が必要な計画を行って欲しい。

標津町は道東に位置し、北に世界自然遺産知床を、南に原生花園と丹頂鶴や白鳥などの野鳥の宝庫でラムサール条約登録湿地である野付半島を抱える自然豊かな町。眼前24キロの原生の島・国後島と秘境知床から豊富な栄養分が流れ込む、根室海峡の水産資源が豊かであると共に、北海道遺産に登録された「サケの文化」の中核的な町として知られ、鮭の水揚げ量で全国有数の鮭の町であり、背景には雄大な牧草地が広がり、大酪農郷を形成している。

本町は生産の町としての農業と漁業の振興に加え、第3の産業として観光振興を図るべく「標津サーモンパーク」や「ポー川史跡自然公園」更には「標津海の公園構想」等の地域活性化プロジェクトを進めてきている。

このことにより、釧路、根室圏域の内陸部を縦断している釧路市と標津町を結ぶ地域高規格道路が重要であり、これからは、都市間の地域連携を一層促進し、人的・物的交流や都市的サービスである高度医療、教育・文化・観光施設等の相互利用および広域観光ルートの設定等が圏域住民から期待されており、町民の暮らしを守るため確実な道路ネットワークの構築が必要であります。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道標津郡標津町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果 や評価等	○その他
・地域活力の向上 (地域高規格道路釧路中標津道路)	・本路線は釧路・根室圏域の内陸部を縦断し、釧路市と標津町を結ぶ地域高規格道路であり、本路線沿いには根釧パイロットファーム事業などにより大規模酪農業が営まれています。 また、当路線は重要港湾釧路港と後背酪農圏を結ぶ物流ルートとして、農業関連資材の搬送と国内需要を担う生乳輸送を担っております。新物流時代に対応した釧路港の整備により海上輸送コストの低減が期待されることから、陸上の物流効率を高める地域高規格道路の早急の整備が必要である。		
・地域活力の向上 (一般道道薫別川北線)	・本路線は羅臼町から中標津・釧路方面及び冬期間の知床峠通行止による斜里・網走方面への交通アクセストとして重要な路線であり、基幹産業である漁業、酪農の生産輸送ルート、観光ルートとして交通量が増加している。 さらに、本路線沿いには、町有公共牧場及び農家所有の採草地が隣接しており、今後ほかの公共牧場との利用調整を行いながら、当該公共牧場を整備拡張し、酪農家に対する優良後継牛の供給と農家労働力の負担軽減を図るとともに、グリーンツーリズムなどによる都市との交通促進等の体験型観光も含めた標津町の拠点総合牧場を整備する。 これらの施設を利用するために交通量が増加する等、ますます重要な路線となり、早急な整備が必要である。		